

「やすまる広場井戸端トーク（令和元年度第1回まちづくり井戸端座談会）」の結果について

日時：令和元年6月2日（日）

13：00～14：30

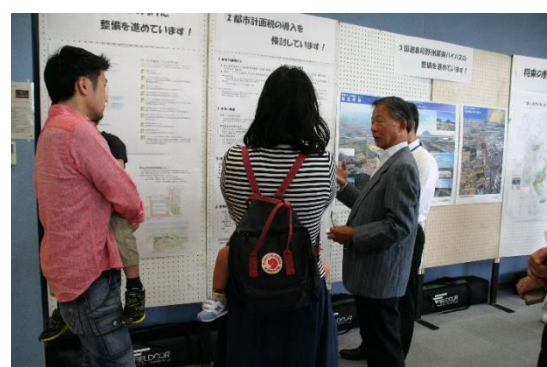
場所：野洲図書館ホール

<入場者>

約80名

<掲示内容>

- ・野洲市民病院について
- ・都市計画税について
- ・国道8号野洲栗東バイパスについて
- ・余熱利用施設について
- ・オクトーバーフェストについて
- ・野洲市の観光資源について
- ・永原御殿の史跡化について



参加者からの主な意見 【○市民意見、●市回答】

➤ 野洲市民病院について

○まだ反対している人もいるが、このまま進めてもらいたい。誇りに思っている。

○新しい病院はいつできるのか。

→●令和3年度の完成を目指して事業を進めている。

→○トイレ一つにしても、現在の野洲病院の施設は古くて使いにくい。早く完成してもらいたい。

○地域に病院が必要であることは理解しているが、経営面が心配である。

○赤字経営になると思うので、市民病院の整備にどちらかといえば反対である。

→●賛成、反対どちらの意見もある中で、長い議論を経て、今の方針を決定し、整備を進めている。ごみ処理や保育も同様であるが、行政サービスの中には、赤字だから止めてしまおうという論理では成り立たないものがある。厳しいながらも事業が成立するという判断をしており、見通しを立て進めているところである。

○病院ができて小児救急がないのは残念である。

→●以前は野洲病院でも対応していたが、医師確保の問題もあって、小児救急は湖南4市で対応している。今後の課題と認識している。

○このまちに住んで良かったと思えるような先進的な施策展開をしてほしい。

➤ 都市計画税について

○課税される場所とされないところがあるのは不公平に思う。

→●市街化区域と市街化調整区域では、土地利用の自由度が違い、市街化調整区域では簡単に家が建てられない。この自由度の違いに着目した制度となっている。

○次の議会で決定されるのか。

→●閉会中に継続審査されており、次の議会で審議される。

○財源は何に使われるのか。

→●都市公園や雨水幹線、道路の整備等が想定される。また、今までそれらの事業に充てていた一般財源を子育て支援や高齢者支援に充てることができるようになる。

○子どもと遊べる公園が不足しており、公園整備を希望する。

○自動車免許を返納予定であり、移動手段が自転車になる。安全に走行できるよう自転車道の整備を希望する。

○名神の竜王 IC から大篠原へ抜けるトンネル整備を希望する。

➤ 余熱利用施設について

○長年、総合体育館のトレーニング室に通い健康づくりを行ってきたため、施設の移転に不安がある。

→●新施設はトレーニングジムとプールが併用でき、クリーンセンターにはグラウンドゴルフ場も整備してある。一体で健康づくりができる場所となっている。立地に関しては、全自治会に公募を行ったが、有効な応募がなく現在地となった。今年度から増便したコミュニティバスの路線を余熱利用施設まで延伸させるよう、コース検討を行っている。

●料金体系については、8月後半に公開で検討会を行う予定である。他市にあるような民間のスポーツジムが野洲市に無いのは、今まで市の施設が安すぎたため、民間が出てこられなかったのが一因である。

●新しい施設を利用していただき、またご意見をいただければと思う。現在の方針では、新施設に集約をする方向である。

➤ 野洲市の観光資源について

○兵主大社の近くに日本で一番小さい神社ではないかと思われる神社がある。市で調べて PR できないか考えてほしい。

➤ その他

○冒頭にそれぞれの事業の簡単な説明をいただけないのではないか。このやり方では来場される度に同じ説明を市長や担当者が繰り返さないといけないのではないか。

→●説明会と違い、時間内は出入り自由で、来場者と気軽に意見交換を行うというスタイルで行っている。

○本日の展示内容等、いろいろな情報を広報等に載せていただいていると思うが、知らない人が多い。見ていないし、見ても中身が伝わっていないように思う。

→●本日のような機会の他、多様な広聴制度を設けている。仲間内にも広げていただき、是非ご利用いただけたらと思う。